

令和2年度第3回羽村市文化財保護審議会 会議録

日 時	令和2年12月5日(土) 午後3時00分～午後4時45分
会 場	羽村市郷土博物館 会議室
出 席 者	白井 裕泰 委員、島田 秀男 委員、和田 哲 委員、坂上 洋之 委員、 坂詰 智美 委員、金子 淳 委員、鈴木 秀和 委員
欠 席 者	なし
議 題	<p>審議会</p> <p>1 あいさつ</p> <p>2 議題等</p> <p>(1) 令和2年度第1回及び第2回羽村市文化財保護審議会会議録要旨の確認について</p> <p>(2) 令和2年度文化財説明板の修繕について－資料1, 2</p> <p>(3) 令和3年度以降の文化財説明板補修年次計画について－資料3, 4</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 令和3年度以降の東京都指定文化財保存事業計画(羽村橋のケヤキ)について－資料5</p> <p>(2) その他</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 次回日程について 令和3年3月27日(土)</p>
傍 聴 者	なし
配布資料	<p>【資料1】 根岸地藏・鳩胸坂説明板文面</p> <p>【資料2】 堂坂・間の坂(沢の坂)・遠江坂(跡)・根搦坂・雨乞い坂説明板文面</p> <p>【資料3】 令和3年度以降文化財説明板補修・再設置年次計画</p> <p>【資料4】 文化財説明板一覧表</p> <p>【資料5】 最新・樹木医の手引き</p>

<p>会議の内容</p>	<p>1. あいさつ (会長) <あいさつ></p> <p>2. 議題等</p> <p>(1) 令和2年度第1回及び第2回羽村市文化財保護審議会会議録要旨の確認について (事務局) 令和2年度第1回会議録については以前に配布しており、訂正等あればご指摘いただきたい。令和2年度第2回会議録については次回までに確認いただきたい。 (会長) 訂正、ご意見等はあるか。 (各委員) 特になし。 (会長) 無いようなので令和2年度第1回会議録は承認とし、令和2年度第2回会議録については次回までに確認をお願いする。</p> <p>(2) 令和2年度文化財説明板の修繕について (会長) 事務局からの説明をお願いする。 (事務局) <【資料1】を用いて説明> (会長) 「根岸地蔵」に関してご意見等あるか。 (委員) 「根岸地蔵さま」とあるので5行目のかんなんどうのところを「かんなんどう(観音堂のこと)」と鍵括弧を付けた方が良いのではないかと。 (委員) その方が良い。 (事務局) ではそのように訂正願いたい。 (会長) 次に鳩胸坂に関してだが先に事務局から他の坂も含めて説明をお願いする。 (事務局) <【資料2】を用いて説明> (会長) 何か意見等あるか。 (委員) 「鳩胸坂」の英文表記の下から3行目に「Not only the people of Tokyo」となっているが日本文だと「小作」となっている。 (事務局) 「Tokyo」ではなく「ozaku」に修正をお願いする。 (委員) 坂の所在地がわかる地図をいただきたい。 (事務局) 文化財説明板の地図資料があるのですぐに用意をする。 (委員) 今回改修の説明版ではないが、「雨乞い坂」の文章の一番下の行に「下級武士」とあるが、なぜ「下級」とつけたのか。「地侍」またはただの「武士」で良いのではないかと。 (事務局) 「雨乞い坂」の説明板は道路拡張の際撤去してしまったものであり、今後再設置をしたいと考えている。その時にこの部分に留意して設置したい。 (委員) 「坂をのぼる」という表記についてだが「鳩胸坂」の5行目と6行目は「登る」、「堂坂」「間の坂」では「上る」となっている。文化庁が出している公用文書の書き表し方の基準では山は「登る」で、坂は「上る」となっているので、この2ヶ所</p>
--------------	---

を「登る」ではなく「上る」と表記した方が良い。もう一点、4行目の「重たい肥」は「重たい」と読み間違いやすいと思われるので「重い堆肥」としてふりがなをふったほうが良いのではないか。

(事務局) そのように訂正したい。

(委員) 鳩胸坂という名称がついたのは頂上近くが急になっているということではなくて、平面的に曲線に曲がっているからではないか。

(委員) 高低差の事だと思う。子供の頃、親から聞いた話では坂の最後が急になっているから鳩胸坂というとの事だった。

(委員) だがなかなかそのイメージがわからない。

(委員) 道路の拡張工事などが行われているので現状だけで判断すると鳩胸になっていないかもしれないが、過去に鳩胸のようだった形状が現在変わっているとすれば、「頂上近くが急で鳩の胸に似ているからだと言われています。」と書いて今後に残していくことは必要だと思う。

(委員) 表記はこれで良いと思うが、どこかにこう言われている、という根拠・記述はあるのか。

(委員) 羽村郷土研究会の記事に書かれているのが一番古いものだと思う。これを根拠として良いのではないか。

(会長) 他に意見等はあるか。

(委員) 「この辺りには、たくさんの長く急な坂があります」とあるがこの辺りとはどこか。

(事務局) 間坂や根がらみ坂などを含んだ、羽村全体を指しているのではないかとと思われる。

(委員) 長くはない。

(委員) 「この辺りには、たくさんの長く急な坂があります」という前段を受けると、「この坂」ではなく「これらの坂はいくつかの街道や小作の駅に結びついて利用が多かったようです。」とした方が良いのではないか。「この坂」となると鳩胸坂だけを指すことになる。

(事務局) 「鳩胸坂」のことを説明していると思われる。

(委員) 現在の文章を読むと、鳩胸坂に限らず松本神社の両脇にある坂なども使って、上の畑に向かったというように解釈できると思うがいかがか。

(委員) 鳩胸坂を説明しているのか、この辺りの複数の坂を説明しているのかがわかりにくい。鳩胸坂だけは特別である、ということを表したいのか。

(委員) 根拠となっている羽村郷土研究会の記事を見るといろいろな坂があるけれど「最も利用が多かったのは鳩胸坂である」とあるので、この表記で良いのではないか。

(委員) 了解した。

(委員) その記事に「最も車の利用が多かった」とあり、物を運ぶ時に一番利用されていたために「利用が多かった」という表記が説明板もされているのではないか。他

の道では荷車などが通れず、幅の広がった鳩胸坂が多く利用されたということではないか。

(委員) やはり「いくつかの街道」という表現は良くないのではないかと。それほど街道は無いと思うし、「小作駅」が断定して表記されているので、「青梅街道」と特定しても良いのではないかと。

(委員) 羽村郷土研究会の記事にいくつかの具体例は書かれておらず、なんとも言いようがない。

(委員) 新奥多摩街道はいつ出来たか。

(委員) 昭和五十数年頃と思われる。

(委員) 旧青梅街道は江戸時代から江戸まで行けたのか。

(委員) 行けた。新町あたりの吉野家が開発した。以前は成木街道と呼ばれていた。

(委員) 江戸時代には立川辺りでは川沿いの道、今の奥多摩街道のことを青梅道と呼んでいた。拝島道というものもあった。街道という用語は使っていない。

(委員) この説明板には小作駅と書いてあるので、小作駅ができた昭和2年以降のことを説明していると考えたと、青梅街道という名称が使われていた時代であると判断して良いのではないかと。

(委員) 青梅街道か奥多摩街道か旧青梅街道なのかははっきりしないので「いくつかの街道」と表記しているのではないかと。

(委員) この「街道」は一般的な街道を指しているようだ。

(委員) 「結びついて」と書いてあること、現在と同様に友田橋から鳩胸坂を通り、青梅街道へ接続する道のりは主要な交通路だったと思われるので、青梅街道と特定して良いと思われる。

(委員) 羽村郷土研究会の記事には小作の一つの集落の中だけで呼び名がついている坂が七つも書いてある。他の地区と比べても多いということと言いたかったのではないかと。そういったニュアンスを残すためにも「この辺りには、たくさんの長く急な坂があります」という表現は残して良いのではないかと。ただ「長く急な」という部分は何とも言えない。

(委員) 「このあたりには」ではなく「小作には」が良い。

(委員) 「たくさん」と言えるのか。

(委員) 呼び名のある坂は川崎には堂坂、東ヶ谷戸には寺坂だけと少ないが、小作には七つも坂があるので「たくさんの長く急な坂があります」という表現が良い。

(会長) 他にないか。なければ次に移る。

(3) 令和3年度以降の羽村市文化財説明板補修年次計画について

(事務局) <【資料3・4】を用いて説明>

(会長) 何か意見等あるか。

(委員) 宗禅寺薬師堂の説明板はお堂の扉についているのか。

(事務局) その通りである。

(委員) 閉めたら見えないのでは。
(事務局) 恐らく住職と相談してここに取りつけたと思われる。
(委員) 文化財自体に付けない方が良く、離れたところに設置するべきである。
(事務局) 改修時に設置方法について検討することとしたい。
(委員) 「根搦前遺跡」の表記について、市史では「根搦み前遺跡」と「み」が入っていたと思うが、市として表記を統一したほうが良いのではないかと。
(事務局) 東京都の埋蔵文化財包蔵地の台帳上では「(間坂一峰院前の) 遺跡」という名称になっているが、「根搦前遺跡」という名称が広く使われていることから説明版では「み」を入れない表記にしたと思われる。現在台帳上の表記を「根搦前遺跡」に変更するよう手続き中であるため、台帳と市史で表記が統一されるよう調整したい。
(委員) では、表記をどちらにするか市で議論し、統一してほしい。
(事務局) 承知した。
(会長) 他に何か意見等あるか。
(委員) 説明板が作成されている坂はどういった基準で選ばれたのか。根拠は何かあるのか。
(事務局) 過去の著作物などを参考に説明板を設置したと思われる。
(委員) 明確な基準がないのであれば、その他の坂についても説明板を設置して良いのではないかと。その辺りを確認してほしい。
(事務局) 承知した。
(委員) 東京都指定文化財の説明板に関しては都に改修してもらう必要はないのか。
(事務局) 状態が良くないものがあつた際には都に連絡する。「まいまいず井戸」、「羽村橋のケヤキ」、「阿蘇神社の本殿」、「阿蘇神社のシイ」の4ヶ所である。「武蔵野台地西部(羽村地域)の養蚕関係用具」も都の指定を受けているが博物館に収蔵されているため説明板は無い。
(委員) 国指定の「旧下田家住宅」はどうか。
(事務局) そちらについては羽村市教育委員会設置の説明板がある。
(会長) 他に何か意見等あるか。無いようであれば次の議題に移る。

3. 報告事項

(1) 令和3年度以降の東京都指定文化財保存事業計画(羽村橋のケヤキ)について

(会長) 事務局からの説明をお願いします。

(事務局) <羽村橋のケヤキの現状を【資料5】を用いて説明>

(会長) 意見等あるか。

(委員) 傷口の補修にウレタンを使わないのであれば、先進国ではそのかわりに何をしているのか。

(事務局) 傷口を削り、表面に殺菌のためヒバ油とエタノールを薬剤として塗布している。

(委員) 一番悪いのは水が溜まることであると思うので、部分的にウレタンを使うのも良いのではないか。

(事務局) 前回の処置は所有者の意向も伺って決めたそうである。

(委員) 所有者に聞いてはいけない。専門家ではないのだから。木の為に一番良い処置を科学的に行なうべきである。

(事務局) 今現在は最新の理論で進めているが、前回の処置時には方向性を急に変えるわけにはいかなかった、という事情もあったようである。

(会長) 何か意見等あるか。無いようであれば次の議題に移る。

(2) その他

(事務局) 文化財説明板位置図について、羽村市内に合計 57 ヶ所の文化財説明板が設置されているが、今までこれを網羅した案内図がなかったため今回作成をした。これは市指定だけでなく国・都指定の文化財の説明板も含めた地図である。

(委員) どこで配布されているのか。

(事務局) 郷土博物館の受付で「はむら文化財みて歩き」を 100 円で販売しているが、その地図の補足資料として配布している。

(委員) 少し話がずれるが、現在特別展で展示されている松本神社の御鷹場の石杭を市指定文化財にできないか。羽村にとって重要なものであるので検討していただきたい。

(事務局) 以前御鷹場に関する話が挙がった際に、まずは資料収集や調査をしてから検討しなくては、ということで指定の準備も兼ねるために今回特別展を行った。今年度は難しいが来年度以降に指定に向けて進めていく予定である。

(委員) 御鷹場に関する文書が小平の図書館にあったが、羽村にはないのか。

(事務局) 杭に関するものは無いが御鷹場に関する古文書ならいくつかあり、現在展示している。

(委員) それも付して指定出来るように検討して欲しい。

(事務局) 承知した。

(会長) 何か意見等あるか。無いようであれば次の議題に移る。

4. その他

(1) 次回日程について

(会長) 事務局からの説明をお願いします。

(事務局) 次回の会議の日程を決定したい。毎年 3 月下旬の土曜日に開催している。20 日・27 日はいかがか。

(委員) 平日を含めた 3 月 25 日・26 日・27 日そのあたりの開催はどうか。

(会長) 各委員からの意見等はあるか。

<各委員日程調整・承諾>

(事務局) では次回は 3 月 27 日 (土) の午後 3 時から博物館にて開催ということで

	<p>予定いただきたい。本日の校正を反映した文化財説明板の原稿を1月中に郵送又はメールするので確認をお願いします。</p>
--	---

(会長) 他に質問等が無ければ本日の議題は終了とする。

(一同) ありがとうございました。